

神戸輝夫の 二豊漢学講座

2025年度(第九期)

大分県の文化的土壌の底層には二豊（豊前・豊後）の各地で花開いた漢学が息づいています。漢学とは特に江戸時代に学ばれた中国伝来の学問の総称で、具体的には哲学、歴史学、文学、地理学、漢方（医学）、本草学、天文学、数学、農学、書道、絵画、武術などの分野に及んでいます。この講座では、二豊の著名な漢学者について紹介します。

かんべてるお

講師：神戸 輝夫

元APU孔子学院学院長、前APU教授、大分大学名誉教授

1939年4月 京都生まれ

1964年3月 京都大学文学部史学科(東洋史学専攻)卒業

1966年3月 京都大学大学院文学研究科修士課程修了

1970年3月 同博士課程単位取得満期退学

大分大学教育学部長、放送大学大分学習センター長などを歴任。

主な研究分野は、中国における漢族と少数民族の摩擦問題、

アジア・太平洋戦争期における日本の中国文化侵略、

大友宗麟時代の中国・朝鮮・東南アジア交流史研究、

シルクロード文化史研究。

2017年11月 瑞寶中綬章 受章



二豊に関わりの深い
漢学について
一緒に学びましょう

前期 【第一回】 5月22日(木) 13:00~14:30

「廣瀬旭荘と亀井昭陽の交流—昭陽の「傷逝録」をめぐって」

【第二回】 6月12日(木) 13:00~14:30

「田能村竹田と雲華上人の交流—芙蓉残雪図をめぐって」

【第三回】 7月3日(木) 13:00~14:30

「杵築藩、日出藩における和算学」

後期 ※詳細が決まり次第お知らせいたします

【第四回】 10月 「漢学者の顕彰する市井の人物像」

【第五回】 11月 「三浦安貞（梅園）と根来東林、麻田剛立の交流」

定員：各回100名

会場：J:COMホルトホール大分 大会議室

受講料：無料

※開始30分前から入場可

お申込み：不要

※後期の会場は未定